

11月は児童虐待防止推進月間

11月は児童虐待防止推進月間です。桐生市立図書館の特設コーナーにおいて、親子で楽しめる絵本や子育てに関する本を展示します。ぜひ、お出かけください。



子育て支援センターからも、職員のおススメの絵本を紹介します。親子で一緒に楽しんでください！



『つみき』 作.中川ひろたか

つみきを積んで高くなっていく楽しさ、倒れそうなハラハラと期待が味わえる絵本です。シンプルな絵だけど細かな発見もある絵で、最後の「あーあ」というがっかりも子どもは大好きです。ママと一緒にハラハラとがっかりを味わって読んでください！



『たべるのだあれ？』 作.すぎはらけいたろう



動物たちが食べ物を食べる仕掛け絵本です。ページを動かすと、口をモグモグさせているように見えるのが面白い！大人も癖になって、何度も動かしたくなります。子どもたちに読み聞かせをした時、リアクションが可愛くて思い出に残っている本です。ぜひ、親子で楽しんでください。

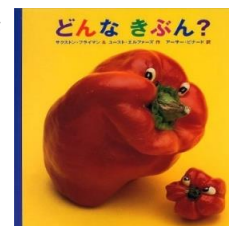
『えんや りんごの木』 松谷みよ子 あかちゃんのわらべうた

ずっと語りつがれてきたわらべうた。お父さん、お母さんが声に出して繰り返し歌ったり読んだりしてくれることが、子どもたちは大好きです。読み方に正解はないので、お父さん、お母さんのリズムでゆったりお子さんと一緒に楽しんでもらいたい絵本です。絵もとても素敵です。



『どんなきぶん？』 作.サクストン・フライマン&ユースト・エルファーズ

とにかくカラフル（ビタミンカラー）&ユーモラスで、思わず顔が緩んでしまう絵本。親子で大好きでした。子育て中、イライラしたり、子どもに感情を爆発させてしまったり、笑顔のママでいられない自分が嫌になった時、この絵本に登場する野菜や果物の表情に、「そういう気分もあるよね！」と励まされました。子育てを卒業してもそばに置いておきたい1冊です。



『おやすみなさい コッコさん』 作.片山健

まだ寝たくないコッコさん。そんなコッコさんにやさしく語り掛けるお月様。コッコさんとお月様の繰り返し続く会話がとてもほのぼのとします。そして、だんだんと眠くなっていくコッコさん、眠りにつくコッコさんを優しく包み込んでくれるお月様です。

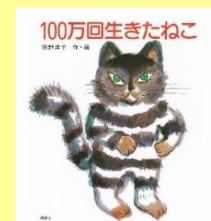


『うずらちゃんのかくれんぼ』 作.きもとももこ

うずらちゃんとひよこちゃんが花やきのこになり、かくれんぼをする本です。「あ！みつけた」「ここにいたね！」など、見つけることを楽しみながら見るができます。また「もういいかい！」「まあだだよ～」と同じ言葉をリズム良く繰り返します。親子で言葉のやり取りの面白さも味わえ、言葉の発達の1歩としてもおススメの1冊です。



『100万回生きたねこ』 作.佐野洋子



中学生の頃、国語の先生に薦められて出会った絵本です。生きることはどういうことか、愛すること、愛する人との過ごし方を考えさせられます。大切な人とケンカした時、子どもに想いが通じずイライラした時などに読み返しています。子どもには難しい内容かもしれませんが、ぜひ一緒に愛を感じながら楽しんでみてください。

『あんなにあんなに』 作.ヨシタケシンスケ

「あんなに小さかったのに」「あんなに泣いていたのに」。子どもの成長とともに過ぎていく日々の愛おしさが描かれています。子育ては大変なことも多いけれど、すべてが大切な瞬間なんだと感じられる1冊です。

